中小企業・小規模事業者のための経営相談所
よろず支援拠点

経営のお悩み相談しませんか?

高知県よろず支援拠点
ガイドブック

相談無料

CONTENTS

01-02・・・よろず支援拠点とは
03-07・・・よろず支援拠点の活用事例
CASE01 情報発信　CASE02 施策活用
CASE03 広報戦略　CASE04 創業支援
CASE05 I T活用
08・・・・・・高知県よろず支援拠点で実施している
セミナー・サテライト相談会
09-10・・・支援機関との連携
11・・・・・・コーディネーターの紹介
12-14・・・【資料】データでみる高知県よろず支援拠点

よろず支援拠点とは

よろず支援拠点は、国が設置した無料の経営相談所です。
様々な経営課題に応え、高知県よろず支援拠点では年々相談実績が増加しており、
昨年度は4,000件以上の相談実績があります。

○国が設置した経営相談所

よろず支援拠点は中小企業･小規模事業者の皆さんのための経営相談所です。
2014年に国が中心となって、各都道府県に1カ所ずつ設置しました。

○何度でも無料で相談が可能

課題の整理から解決策の提案、実行までフォローし、
課題が解決されるまで何度でも相談者に寄り添いながら支援します。

○さまざまな経営課題に応える組織体制

高知県よろず支援拠点は、さまざまな専門性の高いコーディネーターを配置しています。
また、他の支援機関と連携して課題解決に応えていきます。

よろず支援拠点の役割

■ あらゆる経営課題への対応

「売り上げを伸ばしたい」、「経営を改善したい」、「事業を継承したい」など経営者の悩みは様々です。
そのような時、「何から手をつけて良いか分からない」「どこに相談したら良いかわからない」という方もいらっしゃるでしょう。
高知県よろず支援拠点は、相談に来られる経営者が直面するあらゆる種類の経営課題について相談に応じ、解決に向けた支援を行います。

中小企業･小規模事業者が直面する様々な経営課題

売上拡大、生産性向上、経営改善、事業承継、人材確保･育成、販路開拓、資金繰り改善、商品･サービス開発、研究開発、IT活用、創業、産学連携、制度活用など

経営課題は企業の成長段階に応じても変化します

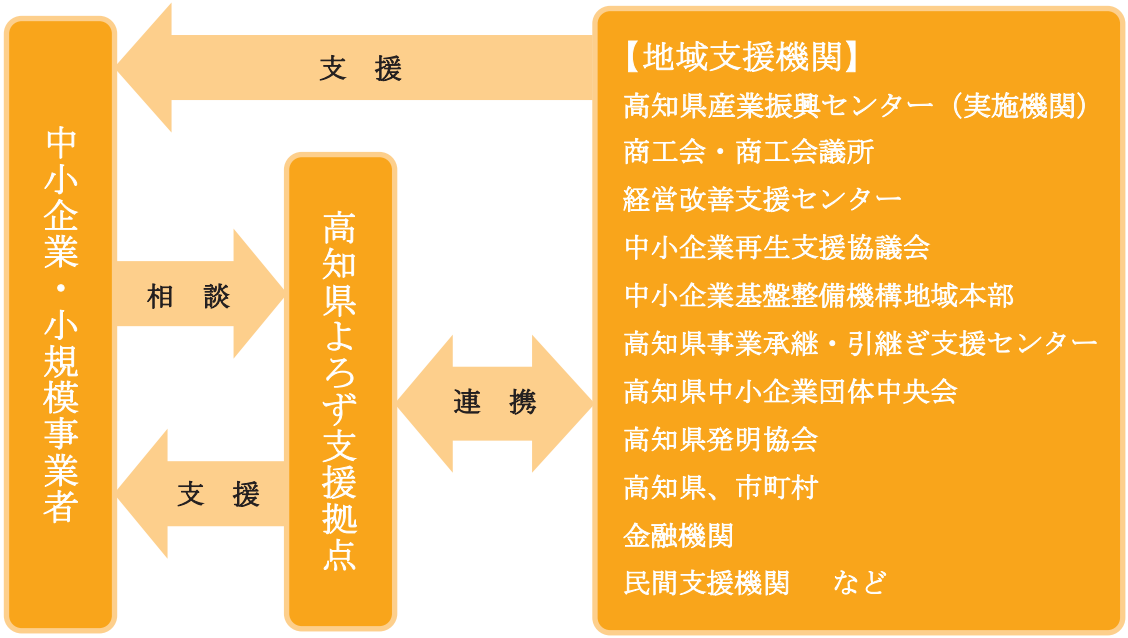
「起業したい」「このアイデアはビジネスになるだろうか」といった創業前の相談から始まり、会社を立ち上げ、事業を軌道に乗せる創業期、事業の拡大や多角化を図る成長期、安定的な成長を維持する成熟期、そして、事業の承継や譲渡を考える時期まで。
高知県よろず支援拠点は、企業が置かれている状況を踏まえながら、様々な悩みや課題に応えていきます。

■ 専門性の高いアドバイス

高知県よろず支援拠点では、多様なバックグラウンドをもつコーディネーターが、皆様の相談に対応しています。
金融機関での勤務経験者や企業経営の経験者、IT関連の実務経験者など様々なコーディネーターが在籍しています。
各コーディネーターが、実務経験やこれまでの相談対応で積み上げた知見とノウハウを持って相談対応を行っています。
また、個別の経営課題に応じた最適な人選をすることで、どんなお悩みにも的確なアドバイスを提供することができます。

■ 他支援機関との連携による支援（ワンストップ窓口としての機能）

よろず支援拠点には、様々な経営相談が持ち込まれますが、必ずしも全ての相談に対して対応できるとは限りません。
そこで地域の支援機関等と連携し、それぞれの強みを生かして課題解決に取り組んでいきます。
「どこに相談すればいいか分からない」といった相談者の方は、まず高知県よろず支援拠点に相談していただきたいです。
また、連携相談がスムーズにできるように、実施機関である高知県産業振興センターをはじめ、地域支援機関の皆様と情報交換等を通じて相談できる体制づくりに取り組んでいきます。



CASE01

情報発信
製菓店

カゴノオト

高知県高岡郡四万十町土居6
TEL／080-8730-9038
代表者／前成照

「1年かけた四万十の旬でつくるシュトーレン」をメイン商品にした高知県四万十町にある製菓店。

カゴノオトの人気商品の1つ、シュトーレン

1つ1つ、心を込めて作っています

のどかな場所に店舗をかまえるカゴノオト

いつでもなんでも相談できる!
まさに「よろず」で、多方面からサポートしてもらいました

■ 相談するきっかけ

2012年にカフェを四万十町でオープン。事業を継続・拡大していきたいという気持ちはありながらも、では具体的にどうすればいいのか、そもそもカフェという業態がベストなのか悩んでいたのだとか。専門の方に相談したいと思いつつ、セミナーなども馴染みがなく「自力でなんとかするもの」と考えていたと話すオーナーの前さん。そんな中よろず支援拠点のことを知った2016年にはじめて相談に出向きました。

■ 課題の整理および分析

それまで作り手として想いを込めたお菓子作りをしてきましたが、買ってくれるお客様目線での見せ方や提案の仕方を検討するようアドバイスがあったのだそう。また自社の強みや魅力の言語化、同業他社との比較など、客観的な視点を持つことの大切さを教えてもらえたことも収獲でした。ただ事業を続けるのではなく、優先順位や力を入れるべきところを整理することができました。

■ 提案と実施

まずはふるさと納税での取り扱いをはじめて、遠方の方にもここで作るお菓子を味わってもらえるようにしたという前さん。また現在の場所に移転してからはテイクアウトのみの業態に。当初はビスケットやスコーンなどをメインに展開していましたが、主軸をシュトーレン、タルトに移し、よりECでの販売に力を入れ始めました。そのために四万十町について、素材について、また作っている人についてなど「カゴノオト」の背後にあるストーリーを伝えられるウェブサイトにリニューアルしたのもこの頃なのだそう。

■ 支援後の成果

当初はご夫婦で営業していましたが今では雇用もしており、事業規模も少しずつ大きくすることができています。全国でシュトーレンを売っているお店がたくさんあるなかで、素材や四万十町についての積極的な発信もスタート。「多方面からサポートしてもらえたことで、今のカゴノオトがあると言っても過言ではない!」と力強く話してくれました。

相談者の声

すぐに成果が出るわけではないECの世界。継続して相談できることがとてもありがたいです。気軽に相談しやすいコーディネーターの方で、ご自身の経験に基づいて売上が立つようにその時その時のタイミングでの改善策を提案してもらえて助かりました。補助金やSNSの運用についてなど、まさに「よろず」!なんでも相談できるので心強いです。

CASE02

施策活用
飲食店

ecocca（イコッカ）

高知県高知市帯屋町2-1-29
TEL／088-826-2239
代表者／穂積豊

帯屋町アーケード内にある、和食&洋食の創作料理やスイーツを、ランチやディナーで楽しめるお店。

彩りも豊かなお弁当「haco deri」

シックで落ち着いた雰囲気

チェントロの向かいに位置しています

ピンチをチャンスに!
状況に合わせて経営を続けるサポートをしてもらっています

■ 相談するきっかけ

2018年に帯屋町アーケードにオープンしたecocca。開業前に経理や税金について知りたいと考えて高知信用金庫に問い合わせたところ、よろず支援拠点を紹介されたことがきっかけなのだそう。コロナ禍になってからは補助金や助成金についての情報提供も随時してもらっています。

■ 課題の整理および分析

開業後は集客も順調に推移しました。来店してくれるお客様の満足度を上げることに注力していましたが、コロナ禍に入ってからはいかに工夫して売上を立てていくか考えるようになりました。まずは夏に向けて高知では初の「糸かき氷」をテイクアウト含めて始めることを検討。専用の機械が高額なこともあり、設備投資にリスクもあることが懸念材料としてありました。

■ 提案と実施

コーディネーターに相談したところ、国のコロナ関連補助金の活用を提案されたのだとか。テイクアウト商材を新規に展開するための補助金を糸かき氷専用の機械購入に活用することで、今後の見通しが立たない状況下でリスクを回避し、すぐに採算を取ることができます。また申請する際の申請内容を濃くするためのアドバイスや、最新情報の共有も適宜してもらっているのだそう。

■ 支援後の成果

無事に糸かき氷の機械を導入することができ、提供もスタート。バニラやキャラメル、ベリーなどフレーバーの種類も随時増やして、今ではお店の人気メニューになっています。また、おいしいのはもちろん、見た目もおしゃれなテイクアウトのお弁当「haco　deri」も予約制で始めるなど、ecoccaならではでありながら昨今の情勢に対応していける商品を展開しています。

相談者の声

料理畑でずっとやっているので、専門外のことはわからないこともしばしばあります。商品のアイデアはあってもどうリスクを負わずに実現できるのか。コーディネーターには「よろず」という名前のとおりなんでも気軽に聞けて、答えやヒントをもらえるので頼りになる存在です。また、時々お店に寄ってくれて、情報共有をしてもらえることもとてもありがたいですね。

CASE03

広報戦略
観光農園

株式会社 西島園芸団地

高知県南国市廿枝600
TEL／088-863-3167
代表者／高芝謙

広大な敷地内のビニールハウスで、スイカやメロン等のフルーツを生産販売し、約200種類の花が咲く。カフェ、ショップも併設。

ECサイトでも購入できる西島園芸団地の人気商品

園内のカフェも人気

ハウス内は1年中美しい花が咲く

ウェブサイトの「役割」を明確に。ECサイトを見直して、売上アップにつなげました!

■ 相談するきっかけ

スイカやメロンなどを生産・販売し、ブーゲンビリアをはじめ約200種類もの花が咲く園内ではカフェ・ショップも併設。観光農園として、西島園芸団地は県内外からの旅行客を受け入れてきました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響で、来場者が激減。通信販売に力を入れたいと考えていたタイミングでよろず支援拠点を紹介してもらいました。

■ 課題の整理および分析

当初は「ECの売上を伸ばしたい!」というビジョンはあったものの、何から手をつけたらいいのかわからなかったそう。よろず支援拠点ではまず「ホームページにどんな役割を担ってほしいのか」を明確にしていきました。来園してくれるお客様向けなのか、遠方の方にも利用してもらえるECサイトに重点を置きたいのか。時節柄、来園者の増加を考えにくかったこともありECサイトのリニューアルへ舵をきることに決めました。

■ 提案と実施

コーディネーターと実際のウェブサイトを見ながら、どうすれば売上アップにつながるかを検討し、見やすく利用しやすいサイトにしていきました。例えば売れ筋商品がパッと目につくように表示したり、手軽に購入しやすくするためにアマゾンペイも導入しました。またチラシなどにQRコードを載せたり、Googleアナリティクスでアクセスの解析をできるようにすることなど、情報の見える化も進めました。

■ 支援後の成果

ECサイトのリニューアルにより、2021年のお歳暮はなんと売上が前年比45%アップ!また最新の情報やトップ画像を季節によって更新することで、閲覧数が増えたのはもちろんお客様から「知りたい情報のページへ飛びやすくなった」との声も。またアクセス解析ができるようになったことで、ページごとの訪問者数や居住地域、流入経路などの情報が見えるようになったことも大きな成果です。

相談者の声

やはり最新の情報を教えてもらえることが心強い!ウェブやSNSの環境が日々変わっていくなか、よろず支援拠点のコーディネーターさんはどんな相談にも応えてくれます。親身になってアドバイスをいただく中でやるべきことが明確になるので、スピード感を持って実施することができました。これからも継続して相談にいこうと思っています。

CASE04

創業支援
飲食店

やまのうえのカフェ山茶

高知県吾川郡仁淀川町竹ノ谷612-4食堂棟
TEL／080-5667-8106(奥野)
代表者／奥野大地

仁淀川町民の憩うコミュニティカフェ。手作りホットサンドやスイーツ、コーヒーをはじめとする豊富なドリンクメニューの提供。

町内産のお茶を使ったシフォンケーキが人気。今後はECにも力を入れていくそう

町内の老若男女が訪れます

現在文字通り山の上にある山茶

親身になって相談に応えてもらえる唯一無二の存在!

■ 相談するきっかけ

現在やまのうえのカフェ山茶を営む奥野さんは、2019年に地域おこし協力隊として仁淀川町に移住。当時からゆくゆくは地域の人が憩う「コミュニティカフェ」をやりたいと考えていたなかで、よろず支援拠点も関わっていたイベントに参加しました。そのイベントを全般的に取り仕切っていたコーディネーターが仁淀川町に関わりのあったこともあり、開業に向けて個別相談をするようになっていきました。

■ 課題の整理および分析

当初からコンセプトや事業内容は固まっていたものの、地域おこし協力隊としての活動もしながらどう開業準備していくのか。特に資金面の相談するなかで、目標を提示して支援を募る「クラウドファンディング」という選択肢があることをアドバイスしてもらったのだそう。コーディネーターが過去に仁淀川町の伝統野菜に関してのクラウドファンディングを経験しており、かなり具体的なアドバイスを受けることができました。

■ 提案と実施

クラウドファンディングを始めるにあたって、仁淀川町やカフェ予定地のPRをして地域貢献に繋がる視点から発信、コミュニティカフェ開業資金の支援を募ることにしました。また「コミュニティカフェ」という性質上、観光客ではなく地域の人に訪れてほしいという気持ちがあった奥野さん。届けたい層を限定するなかでのSNSの活用についても、仁淀川町という地域性を鑑みつつ親身になって対応してもらえたのだそう。

■ 支援後の成果

クラウドファンディングでは目標を無事達成。2020年7月にやまのうえのカフェ山茶をオープンしました。想定以上のお客様の来店があり、またそのうちほとんどが町内の方。定期的に来てくれる常連も多く、テイクアウトの焼き菓子を近所の方やお友達に配ってくれる方もいるのだそう。またお客様同士が山茶で時間を過ごすなかで繋がる場面も多く、「コミュニティカフェ」という当初のコンセプトが実現してきました。

相談者の声

コーディネーターの人柄もあり、身の上話もたくさん聞いてもらいました。「仁淀川町の人に憩ってもらえる場づくりがしたい」という想いに寄り添ってもらえることが何よりもありがたいです。2022年秋には地域おこし協力隊を卒業し、山茶もより地域の方に訪れてもらいやすい場所に移転予定。引き続き相談したいと思っています!

CASE05

IT活用
調剤薬局

有限会社ファイン みなみ薬局

高知県吾川郡いの町天王南1-5-4
TEL／088-850-1001
代表者／濱田雅代

いの町天王ニュータウンにある創業22年の調剤薬局。気軽に立ち寄れる「地域の保健室」を目指して活動を続けている。

認知症予防に役立つ、みなみ薬局一押しのアロマ商品

感染症対策を万全に施した店内

いの町民の健康を見守る役割を担う

投げれば返してもらえることが モチベーションアップに繋がっています

■ 相談するきっかけ

いの町天王ニュータウンで1999年の開業以来、地域密着型の調剤薬局として営業してきた、みなみ薬局。常連のお客様が多いものの、近年はドラッグストアなど競合店も増加。また慢性的に人手が不足していたこともあり、ウェブを活用して当薬局の認知度を上げていきたいと考えていました。そんな中、よろず支援拠点でアドバイスを受けられることを知り、2020年春頃に相談を始めました。

■ 課題の整理および分析

それまでFacebookしか使ったことがなく、ウェブでの情報発信は経験不足。通常の調剤業務も多忙で、しっかりと取り組めていない状態でした。より広域のお客様に薬局を利用してもらいたい、またリピーターを増やしたいとLINEでの処方せん受付を検討していましたが、どうやって導入･運用すればいいのかノウハウもありませんでした。

■ 提案と実施

LINE処方せん受付の導入に向けて、まずは公式アカウントを開設。当薬局では素材にこだわった食品やアロマオイルなど健康に関する各種商品も取り扱っており、そういった情報の配信やスタンプカードの導入を始めました。ウェブ活用初心者であった当薬局のペースにも合わせて、少しずつウェブの専門知識や運用ノウハウを蓄積。LINE処方せんの受付も無事スタートしました。

■ 支援後の成果

当初伸び悩んでいた友達登録数も順調に増え、当薬局前を通勤で日常的に通る方にリピートしてもらえるようになるなど、今までリーチしていなかった地域外にも少しずつ届いている実感があるのだそう。またLINE処方せん受付は薬局での待ち時間が短縮されるので、コロナ禍で密を防ぎつつ利用者の利便性にも繋がっています。

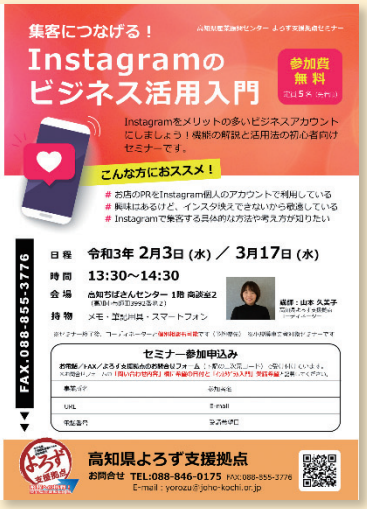
相談者の声

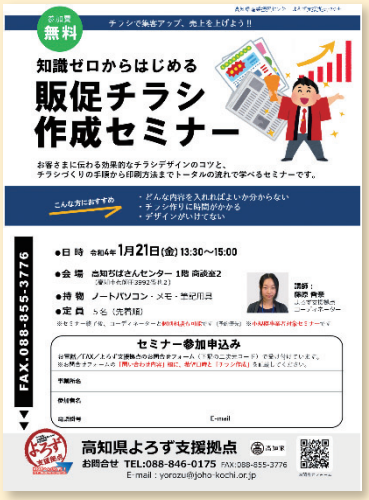
ウェブに関しては全く知識がありませんでしたが、一つひとつ教えていただきながらシステムを構築していくことができました。困っていることを相談すると速やかにアドバイスをもらえるだけでなく、モチベーションも上げてもらっています！まだまだ課題がなくなったわけではないので、引き続き相談しています。

高知県よろず支援拠点で実施しているセミナー

高知県よろず支援拠点では、中小企業･小規模事業者の方を対象に、様々なセミナーを開催しています。
その中でも、よろず支援拠点コーディネーターが講師となり、定員5名というコミュニケーションが取りやすい環境で、わかりやすく、すぐに役立つ、「少人数セミナー」を実施しています。
また、セミナー終了後にはコーディネーターと個別に経営相談にも対応しています。
ぜひご活用ください。

～少人数セミナーの例～





サテライト相談会について

高知県よろず支援拠点では、相談者の利便性向上を目的に、サテライト相談会を開催しています。

令和3年度サテライト相談会の実績

場　所	日　時
日本政策金融公庫	第１水曜日　13：00～17：00
四万十町商工会	第１木曜日　10：00～16：00
中村商工会議所	第２水曜日　13：00～17：00
土佐清水市役所	第２木曜日　9：00～12：00
宿毛商工会議所	第３水曜日　13：00～17：00
黒潮町役場	第３木曜日　9：00～12：00
室戸市役所	第３金曜日　11：00～15：00
中土佐町役場	第４水曜日　13：00～17：00

今後も、サテライト相談会は継続して開催しますが、利用状況や各支援機関の要望などを考慮し、開催会場を変更することがあります。
最新の情報については、高知県よろず支援拠点ホームページ等へ掲載していきますので、ぜひご確認ください。

須崎商工会議所

高知県須崎市西糺町4-18
TEL／0889-42-2575
代表者／会頭 竹内健造

須崎市内の事業者の経営支援を行う団体。販路開拓・融資・記帳・補助金申請等様々な相談に対して支援する。

多様化する事業者の悩みを聞く経営指導員

アットホームな雰囲気

コロナ禍に入り来客がひっきりなし

事業者の困りごとは千差万別。どんなニーズにも各分野の専門家が応えてくれます!

■ サテライトセミナー開催のきっかけ

事業の継続・拡大のため、須崎市内の事業者を多方面からサポートする須崎商工会議所。よろず支援拠点とはこれまでも主にセミナー開催という形で適宜連携をとってきました。2021年度はコロナ禍で各種補助金の申請支援が多くなる中、より自社を客観視し強みを言語化できるようになるための「経営分析」をよろず支援拠点に依頼。約3時間のセミナーを計3回、少人数制で行うことにしました。

■ 連携して取り組んだ事例

現在利用可能な補助金の概要は須崎商工会議所の経営指導員が行いつつ、よろず支援拠点コーディネーターが経営分析を担当。参加した事業者は決算書を持参し、利益と経費を詳細に検討しました。自社のビジネスモデルが適切なのかを財務分析し、さらに強みや不足している分野、変化する社会情勢の中で何ができるのかを客観的に見ていったのだそう。

■ 連携の成果

実際にセミナーを受けて事業計画書を作成し補助金を申請、無事採択された事業者もいるそう。少人数でのセミナーだったため、コーディネーターや経営指導員が個別に対応する場面も多かったので幅広く知識を参加した事業者に伝えられました。「自社のことをしっかり見直せた」という事業者の声も多く、2022年度も事業者のニーズや時勢を鑑みながらも継続していく予定なのだそうです。

■ 今後の展望

ECサイト「かわうそ市場」やふるさと納税など、プラットフォームが全国的に人気の須崎市。須崎市内の事業者の商材の取り扱いや商材の開発にあたっては、しっかりと連携して外商に力を入れています。いいものを作っているものの、まだまだ商談慣れしていなかったり、周知が足りていない事業者も多いので、よろず支援拠点との個別の相談体制やフォローアップも強化していけたらと考えています。

連携団体からの声

環境の変化が著しい昨今、こちらで掴みきれていない情報・知識もあるかと思いますが、あらゆる分野のプロがコーディネーターと在籍しているのでとても頼りになります。またセミナーの開催に関しては、こちらの意図を汲み取って人数や内容の要望に柔軟に対応してもらえることもありがたいです!

株式会社 日本政策金融公庫 高知支店

高知県高知市堺町2-26 高知中央ビジネススクエア1階
TEL／0570-088529
代表者／前田浩志

国の政策の下、民間金融機関の補完を旨としつつ、社会のニーズに対応して、種々の手法により、政策金融を機動的に実施する機関。

一人で様々なタスクをこなす事業者の相談は様々。コロナ禍でのセーフティネット機能も果たす。

日本政策金融公庫の窓口

訪れやすい街中に立地

事業者の課題解決のため これからも伴走していきます！

■ サテライト会場設置のきっかけ

事業の継続や創業にあたって、小規模事業者や個人事業主から融資などの相談を多く受ける日本政策金融公庫。経営面での相談ができる相手がおらず情報収集がうまくできていなかったり、事業計画などの立て方に不慣れな経営者も多いのだとか。様々な課題を抱える事業者一人ひとりの相談にのってもらえたらと、月に1度よろず支援拠点のサテライト会場を設置しています。

■ 事業者の相談ニーズ

ますます多様化する、事業者の困りごと。特にいい商品やサービスがあるにもかかわらずうまく発信・周知ができていない事業者が多く、SNSをはじめウェブを使った販路開拓や集客力の向上に力を入れたい、という相談が増えています。また公庫では「創業支援」にも力を入れており、事業をはじめた後にちゃんと軌道にのるよう、創業準備の段階から経営全般における相談ができる機関としてよろず支援拠点を案内しています。

■ サテライト会場設置の成果・効果

「とにかくじっくりと話を聞いてもらえた」「やるべきことが明確になった」という声も多く、毎月相談の予約もほとんど埋まっています。よろず支援拠点の存在は知りつつも実際赴くに至っていなかったが、公庫にコーディネーターが来てもらえるのならと足を運ぶ事業者も。サテライト会場での相談をきっかけに継続的なよろず支援拠点の利用や各種セミナーへの参加にもつながっており、結果的に業績が伸びる事業者も多いのだそう。

■ 今後の展望

コロナ禍で公庫の利用者自体も増えており、課題も様々。よろず支援拠点での相談は、今後事業者にとってますます不可欠なものになっていくでしょう。またSNSを利用した集客など課題を共有する複数事業者向けのサテライトセミナーをオンライン・オフライン含めて開催を検討中。一度相談した事業者のフォローアップ・よろず支援拠点との情報共有をして、さらに連携していきたいと考えています。

サテライト相談会場の声

高知県よろず支援拠点のコーディネーターは日々情報をアップデートしており、これまでどんな相談も「対応できない」と言われたことがないほど。事業者に寄り添って経営のノウハウを多方面からアドバイスしてもらえるよろず支援拠点は、日本政策金融公庫にとってもとてもありがたい存在です。

高知県よろず支援拠点 コーディネーター紹介

亀井 秀彦 チーフコーディネーター
経営全般
（第1･3･5）火･水･木　（第2･4）月･水･金

県庁職員として33年間務め、主に経営診断業務や企業経営に関する業務を担当。金融機関等と連携し、資金調達や借入金返済、生産性向上等の課題に取り組んできた行政での経験や人的ネットワークを活かして、ご支援させていただきます。

石田 啓二 サブチーフコーディネーター
経営全般/経営改善/事業再生/資金繰り
月･火･水

中小企業･小規模事業者の経営上の売上拡大や経営改善、資金繰表の作成や事業計画策定等のアドバイスをします。

峠 篤士 サブチーフコーディネーター
売上拡大/事業計画/情報発信/販売促進/IT活用/商品サービス
水･木･金

通販会社や食品会社での経験を活かして、事業者さんの売上拡大のための戦略づくりや課題の解決方法のアドバイスを行います。

押岡 洋子 コーディネーター
売上拡大/経営全般/販路開拓/商品サービス
火･金･（第2･4）月

食のブランディング、マーケティング、野菜･果物に関するセミナー講師を務める。高知の魅力ある一次産業を応援します。売り方、魅せ方を一緒に考えお手伝いさせていただきます。

藤原 春奈 コーディネーター
売上拡大/デザイン/販売促進/商品サービス
金

チラシ･パンフレットの販促物をはじめ、商品パッケージ･ブランディング･Webデザイン･写真撮影等の効果的な魅せ方や仕掛けなどデザインに関するアドバイスをいたします。

白石 伸夫 コーディネーター
売上拡大/経営全般/販路開拓/販売促進/商品サービス
月･火

食品メーカー、食品会社において食品の開発や地産地消、地産外商を経験してきました。商品開発や改善、新商品の販売等をお考えの方、お気軽にご相談ください。

村岡 久寿 コーディネーター
売上拡大/IT･Web活用/販売促進/情報発信
水･金

SNS･Googleマイビジネスの運用や動画の活用方法、Googleアナリティクスの設定や導入後のホームページやネットショップの改善方法などお気軽にご相談ください。

山本 久美子 コーディネーター
売上拡大/IT･Web活用/販売促進/情報発信
水

SNSだけでなくホームページやパンフレット、チラシ等の広告物は、お客様とのつながりを創る場です。ホームページやSNSなど情報発信の方法･内容でお悩みの方はご相談ください。

岩田 聡 コーディネーター
経営全般/経営改善/事業再生/資金繰り
木･金

金融機関での長年の勤務経験を基に、県内事業者の皆様の資金繰りの安定化、事業の継続、起業等に「何が必要か、どうすればいいか」等、適切なアドバイスを分かりやすくさせていただきます。

宮田 文乃 コーディネーター
売上拡大/IT･Web活用/販売促進/情報発信
月･火･木

Web通販の売上改善や販売促進に役立つアプリ紹介、Instagram、YouTube、LINEなどSNSでの情報発信をお手伝いさせていただきます。

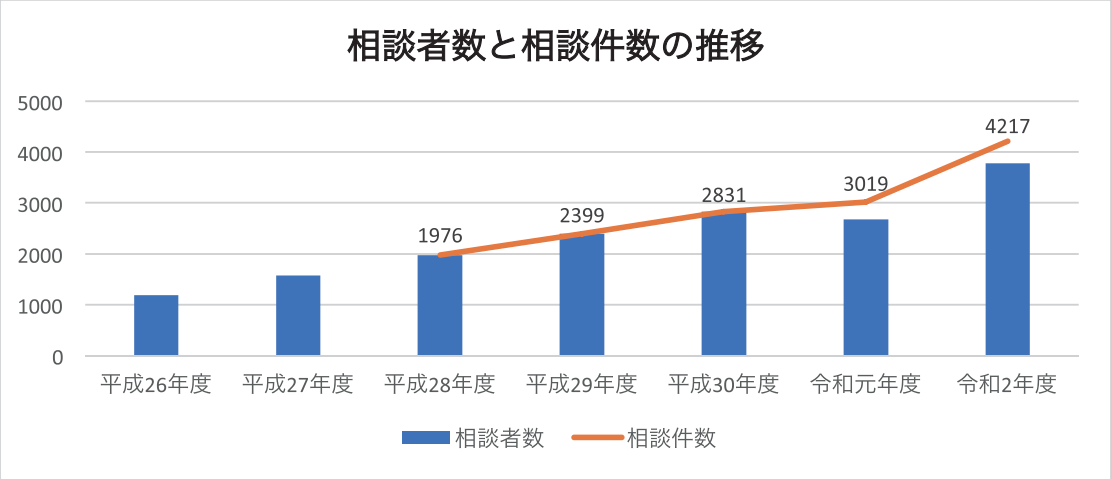
細木 博彦 コーディネーター
経営全般/経営改善/事業再生/資金繰り
月･火･金

長年の地元金融機関と直近3年間の高知県商工会連合会で培ってきた知識･経験等を活かし、事業者の皆様の課題解決に尽力できればと思っております。

データで見る高知県よろず支援拠点

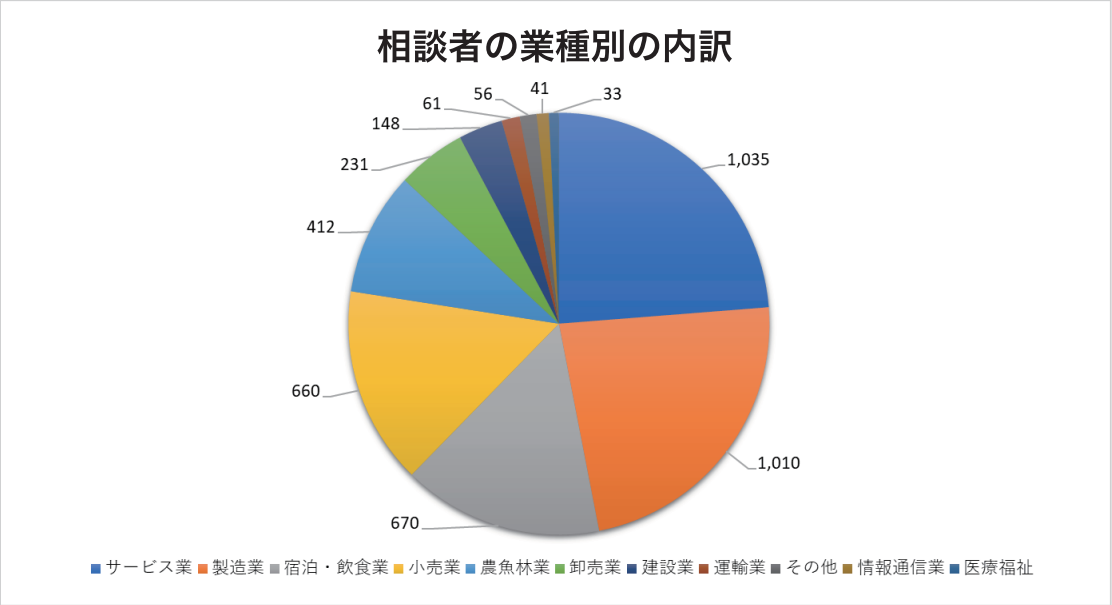
○相談者数と相談件数

高知県よろず支援拠点は、2014年（平成26年度）に設置されて以降、県内の中小企業や小規模事業者の皆さんの相談対応を行ってきました。
これまでの相談者数と相談件数の推移を見ると、相談件数は年々増加しております。
特に令和元年度から令和2年度にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、よろず支援拠点への相談件数も大きく増加しております。



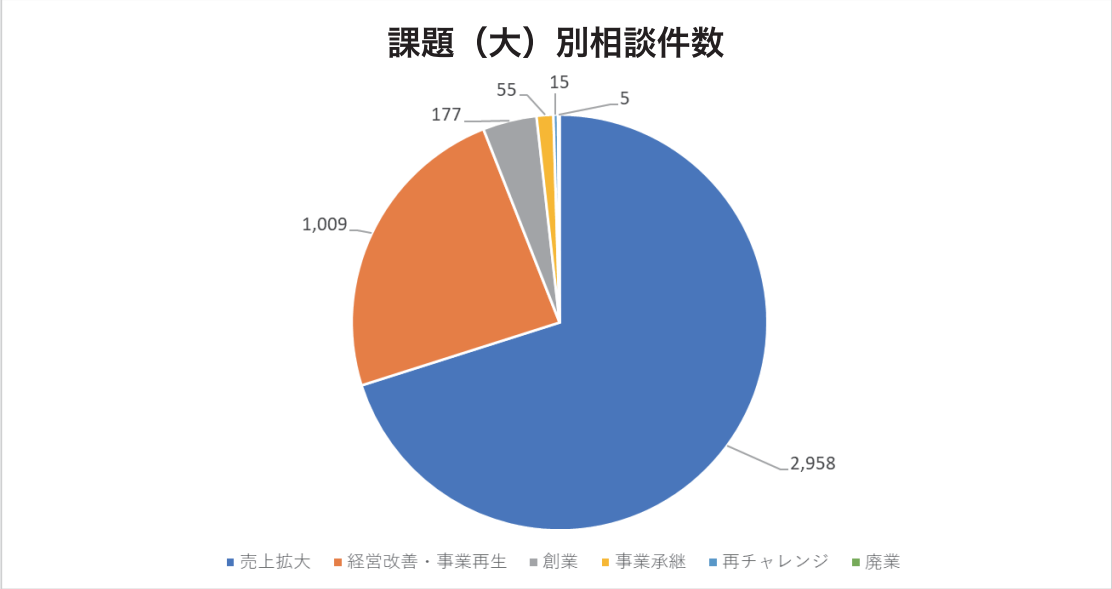
○相談事業者の内訳

相談者の業種は、サービス業が最も多く、次いで製造業となっています。また、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、時短営業などを余儀なくされた宿泊･飲食業やその影響を受けた小売業の方からの相談が増加傾向となっています。

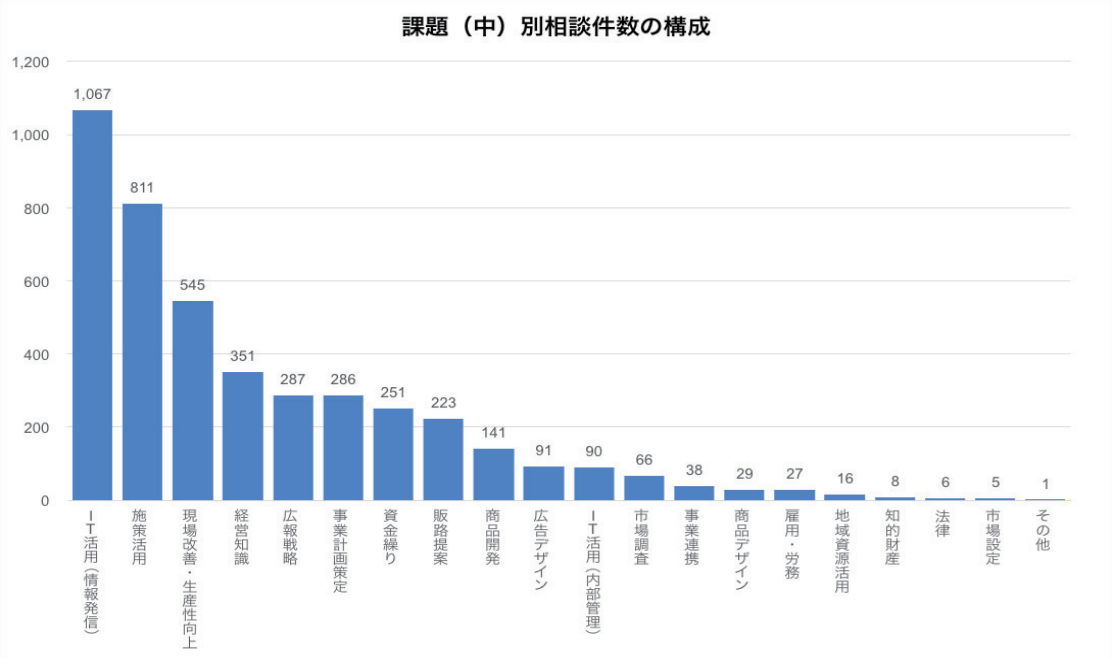


○相談内容（課題）について

令和2年度の相談内容を課題（大）別に見ると、売上拡大の相談が最も多く、次いで経営改善･事業再生となっています。
新型コロナウイルスの影響によって、売り上げが減少したことによる相談が多くなっている傾向が見られます。

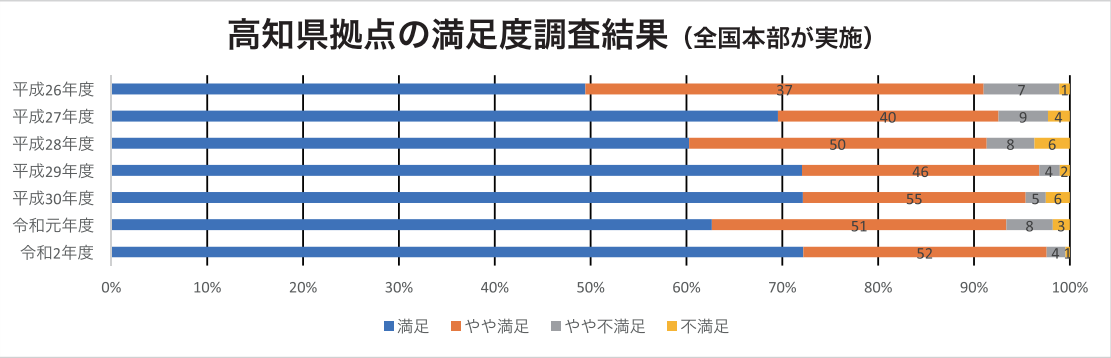


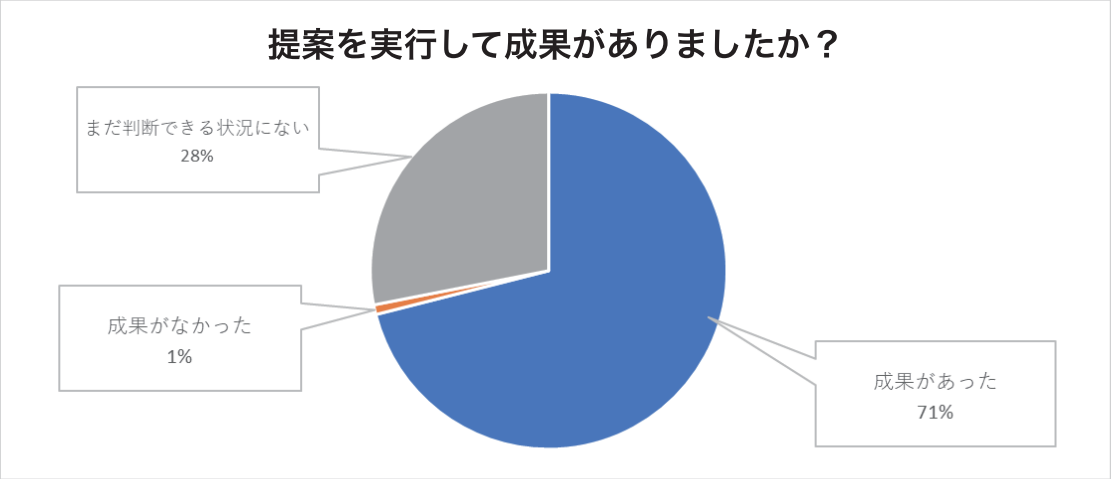
さらに、相談内容を課題（中）別に細かく分類していくと、売上拡大に関わるIT活用（情報発信）の相談が最も多くなっています。
また、新型コロナウイルスの感染拡大で売り上げが減少した事業所に対して、給付金や補助金などの施策が増えたことを受け、施策活用に関する相談も多くなっている傾向が見られます。
このため、高知県よろず支援拠点では、IT･Webを専門としたコーディネーターの増員などの対応をしており、相談者の課題に対して専門的なアドバイスができる人材を配置しています。
また、給付金や補助金など各施策の紹介ができるよう、県や各支援機関と情報共有を行いながら相談対応を行っています。

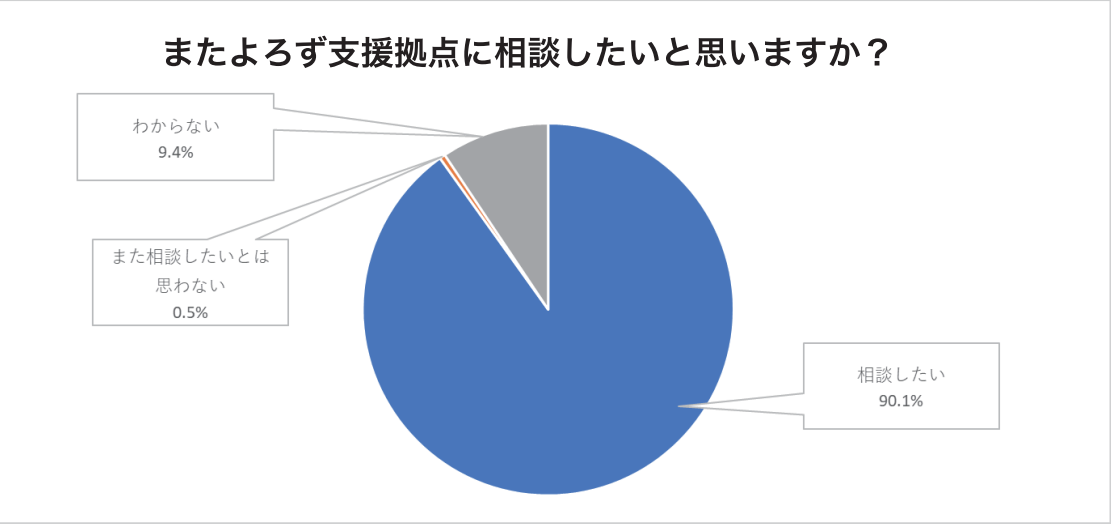


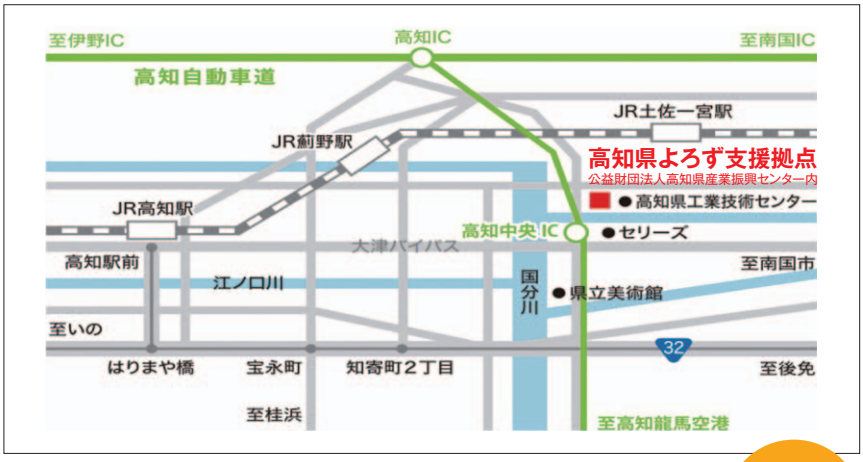
○高知県よろず支援拠点の実績について

よろず支援拠点全国本部が、実際によろず支援拠点へ相談した方を対象に、アンケート調査を実施し、よろず支援拠点に対するご意見をいただいています。
相談者の満足度調査の結果を見ると、9割以上の方に満足していただいています。
今後も相談者の課題解決やそれにつながるアドバイスができるよう、拠点の体制強化に取り組みます。









予約制

☎まずはお電話でご予約ください

TEL:**088-846-0175**

本部常設拠点の受付時間：月～金 9:00～17:00
（土日･祝日、年末年始を除く）

お問い合わせ

高知県よろず支援拠点

〒781-5101 高知市布師田3992-2
公益財団法人高知県産業振興センター内
TEL:088-846-0175　FAX : 088-855-3776
Facebook : kochikenyorozu　Mail : yorozu@joho-kochi.or.jp
https://joho-kochi.or.jp/yorozu　高知県よろず　検索